

宮城県林業技術総合センターにおいて開発したマツ枯死木の探索法（抜粋）を以下に紹介する。

## 調査円内で皮ポンチを使用したマツ枯死木の探索法 (通称:皮ポンチ法) ー 暫定版 ー

1. この手引は、松くい虫被害木駆除の効率化の観点から、年越枯れ木の早期駆除を目的とした枯死木の探索法(皮ポンチ法)を記したものです。
2. この手引を適用できるマツ林は、林分として一定の広がりがあり、かつ、主たる感染源が林内にあるマツ林とします。
3. この手引書は秋調査及び冬調査に適用できます。
4. 2に該当するマツ林の基準については今後研究していきます。

### 1. 用語の定義

- 枯死木  
内樹皮と木部表面が褐色に変化し事実上枯死したマツ
- 年内枯れ木  
枯死木のうち感染した年内(10月頃)に葉が褐変するもの
- 年越枯れ木  
枯死木のうち、感染した年内は緑葉を保持していて翌年(3月頃)になって葉が褐変するもの
- ポンチ調査  
枯死判定のため、小田の方法※に準じて皮ポンチと木槌を用いてマツの樹皮をめくり、木部と内樹皮の色を観察する調査

※ 松くい虫の加害対象木とその判定法について (森林防疫ニュース vol.16 No.12(No.189) 1967)







(宮城県林業技術総合センター ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/stsc/>)